

表1 施設の概要

	財団法人愛媛県廃棄物処理センター東予事業所
施設設置者	財団法人愛媛県廃棄物処理センター
設置場所	愛媛県新居浜市
施設形式	ロータリーキルン式焼却溶融炉（1号炉）
燃焼ガスの温度	1,100℃以上
燃焼ガスの滞留時間	4.7～4.8秒

表2 大気中のPCB及びダイオキシン類の濃度

	財団法人愛媛県廃棄物処理センター東予事業所
施設敷地境界 <sup>※3</sup>	PCB(通常運転時) : 0.12ng/m <sup>3</sup> (500ng/m <sup>3</sup> ) <sup>※1</sup>
	PCB(本試験時) : 0.048～0.065ng/m <sup>3</sup> (500ng/m <sup>3</sup> ) <sup>※1</sup>
施設周辺 <sup>※3</sup>	ダイオキシン類(通常運転時) : 0.02pg-TEQ/m <sup>3</sup> (0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下) <sup>※2</sup>
	ダイオキシン類(本試験時) : 0.011～0.022pg-TEQ/m <sup>3</sup> (0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下) <sup>※2</sup>

※1 : PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCBの暫定排出許容限界について(昭和47年環大企第141号)で定める濃度

※2 : ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質汚染を含む。)及び土壌汚染に係る環境基準について(平成11年環境庁告示第68号)で定める基準値

※3 : PCB及びダイオキシン類の濃度は高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計で測定

表3 排ガス中のPCB及びダイオキシン類の濃度

	財団法人愛媛県廃棄物処理センター東予事業所
試料のPCB濃度 <sup>※3</sup>	509ppm(平均値) <sup>※4</sup>
試料の量	コンデンサ40台 : 約400kg(絶縁油総量 約270L)
排ガス中の濃度 <sup>※3</sup>	PCB(通常運転時) : 6.4ng/m <sup>3</sup> N (100,000ng/m <sup>3</sup> ) <sup>※1</sup>
	PCB(本試験時) : 6.4～9.1ng/m <sup>3</sup> N (100,000ng/m <sup>3</sup> ) <sup>※1</sup>
	ダイオキシン類(通常運転時) : 0.77pg-TEQ/m <sup>3</sup> N (1,000pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下) <sup>※2</sup>
	ダイオキシン類(本試験時) : 0.41～4.3pg-TEQ/m <sup>3</sup> N (1,000pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下) <sup>※2</sup>

※1 : PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCBの暫定排出許容限界について(昭和47年環大企第141号)で定める濃度

※2 : ダイオキシン類対策特別措置法(平成11年法律第105号)で定める基準値

※3 : PCB及びダイオキシン類の濃度は高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計で測定

※4 : 試料のPCB濃度については、事前の分析結果では数ppm～数十ppmのものが主であった。しかし、試験に併せて、再度、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計で測定したところ、10,000ppm以上のものが1台含まれていたことが判明したため、平均値が高い値となった。